

第 69 回年次大会研究発表募集

日本繊維機械学会は昭和 23 年に創立以来、「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り、かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました。

お蔭さまで、年次大会も第 69 回目を迎えます。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされていることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は年に一度、全国の会員が一堂に介して、研究発表会、特別講演会、懇親会に参加し、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思っております。また、35 歳以下の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのおみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしております。

期 日 平成 28 年 6 月 3 日(金)、4 日(土)

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)
〔 〕内はオーガナイザー

1. 研究発表セッション

(a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

〔金井 博幸 (信州大学), 杉村 桃子 (新潟大学), 西松 豊典 (信州大学), 山本 貴則 (大阪府立産業技術総合研究所), 若月 薫 (信州大学)〕

キーワード: 繊維工学 (繊維製品に関わる技術, 性能試験), ウェアの高機能化 (安全, 安心, 健康), 繊維製品と感覚計測 (風合い, 快適性, 感性評価)

(b) 繊維機械の科学と工学

〔太田 幸一 (岐阜市立女子短期大学), 喜成 年泰 (金沢大学), 橋本 欣三 (TMT マシナリー)〕

キーワード: 繊維機械の基礎研究, 流れの科学, 繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術, 紡績技術, 化合繊維機械, 織機, 編機, 準備機械, 織編組技術, 各種繊維関連機器

(c) ナノファイバー

〔山下 義裕 (滋賀県立大学), 金 翼 水 (信州大学), 中根 幸治 (福井大学), 向井 康人 (名古屋大学)〕

キーワード: フィルター, ナノテクノロジー, エレクトロスピニング, メルトブローン, 生体材料

(d) スマートテキスタイル

〔森本 一成 (京都工芸繊維大学), 高橋 秀也 (大阪市立大学), 藤岡 潤 (石川工業高等専門学校), 堀 照夫 (福井大学)〕

キーワード: 導伝繊維, スマート材料, 環境, 実装, 情報

(e) 環境対応技術

〔小田 涼太 (三晶), 内丸もと子 (京都工芸繊維大学), 豊田 宏 (太陽工業)〕

キーワード: リデュース, リユース, リサイクル, 省エネ, エコロジー, LCA, 生分解性, 未利用資源, バイオマス, 環境負荷低減, 節電, 軽量

(f) 繊維強化複合材料

〔中西 康雅 (三重大学)〕

キーワード: FRP, 熱可塑性樹脂複合材料, 金属基複合材料, セラミックス基複合材料, ナノコンポジット, 有機・無機繊維, 強化形態, マトリックス材, 複合効果, 傾斜機能

(g) 伝統的繊維製品および匠の技

〔岡本 陽子 (神戸女子大学), 高井 由佳 (大阪産業大学)〕

キーワード: 伝統産業, 天然繊維, 染織文化財, きもの, 組紐, 編物, 伝統技法, 織技法, 染技法, 衣文化, 民族衣装, 保存, 修復, 復元, 文様, 色彩, デザイン, データベース, 文化財

(h) 被服心理・ファッション

〔徳山 孝子 (神戸松蔭女子学院大学), 森島 美佳 (金沢大学)〕

キーワード: アパレル, 色彩, デザイン, 消費者, ビジネス, ジェンダー, 顧客満足, ブランド, 流行, 購買行動, ユニバーサルファッション

2 お知らせ

(i) 染色・機能加工

〔奥林 里子（京都工芸繊維大学）、松原 孝典（産業技術短期大学）〕

キーワード：染料／顔料／色素，染色・加工処理剤，新規材料合成，染色・機能加工，デジタル染色，超臨界染色加工，エコ染色加工，ドライプロセス（電子線／紫外線／プラズマ），堅ろう度向上，廃液処理，環境／持続社会，バイオベースマテリアル，食品・農芸分野，ヒューマンオリエンテッド

(j) バーチャルテキスタイル

〔石丸 園子（東洋紡）、中西 康雅（三重大学）、西脇 剛史（アシックス）、横山 敦士（京都工芸繊維大学）、若松 栄史（大阪大学）〕

キーワード：繊維製品，バーチャル技術，数値解析，CAE，CAD

(k) 産業用繊維資材および不織布

〔増田 敦士（福井県工業技術センター）、矢井田 修（日本不織布協会）〕

キーワード：産業用繊維資材（テクニカルテキスタイル）、医療・衛生用，工業用，土木・建築用，自動車用，生活資材用，インテリア用，寝装用，皮革用，二次電池用などの不織布

2. 製品紹介セッション

〔武内 俊次（福原精機製作所）、井上 真理（神戸大学）〕

繊維・繊維製品・繊維機械全般にわたって製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。新旧にかかわらず、様々な視点から技術の進展に関連する発表を募集します。その内容を大いにPRしていただけるのが、このセッションの大きな特徴です。また、同じ講演題目で、口頭発表とポスター発表（ポスターセッション）の製品紹介コーナーの両方にエントリーしていただけます。

3. ポスターセッション

〔勝圓 進（倉敷紡績）、保田 和則（愛媛大学）〕

ポスターセッションは、発表者と意見交換できる場です。

このセッションには、(1) 学術研究発表コーナー、(2) 製品紹介コーナー（製品展示・実演も可能）があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます（ダブルエントリーでも料金は発表1件分です）。

学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に（製品紹介セッション、ポスターセッションは該当しません）、平成28年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って優秀な口頭発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により、提出された原稿に基づく第一審査、第一審査を通過された場合、当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし、ポスターセッション（審査対象外）へのダブルエントリーは可能です。

ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に（製品紹介コーナーは該当しません）、平成28年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って優秀なポスター発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーも可能です。ただし、学術奨励賞とのダブルエントリーはできません。

発表申込方法

申込はメールで受け付けます。下記の要領でメールに必要事項をご記入の上、次のアドレスまでお送り下さい。

tmsj@rose.plala.or.jp

受付メールを自動的に分類する都合上、メールの件名は特に正確にご記入下さい。

学会HP（<http://tmsj.or.jp/>）の年次大会ページにも同様の案内があります。

メールの件名の書き方

メールの件名は以下から選び、そのままコピー＆ペーストして件名欄に記載して下さい。

これら以外の文字は件名欄に書かないで下さい。

テキスタイル・アパレルの科学と工学
 繊維機械の科学と工学
 ナノファイバー
 スマートテキスタイル
 環境対応技術
 繊維強化複合材料
 伝統的繊維製品および匠の技
 被服心理・ファッション
 染色・機能加工
 バーチャルテキスタイル
 産業用繊維資材および不織布
 製品紹介セッション
 ポスターセッション

メールの本文の書き方 メール本文には次の事項をお書き下さい。

- (1) 申込者氏名, 所属, 連絡先住所, 電話, FAX
- (2) ご希望のセッション (ポスターセッションの場合は, 学術研究発表コーナーまたは製品紹介コーナーの区別)
- (3) 発表題目, 発表者名 (連名者) の氏名ならびに所属 (登壇者に○)
- (4) 研究発表概要 (100 文字以内)
- (5) 学術奨励賞応募の有無, ベストポスター発表賞応募の有無, 賞に応募する場合は登壇者の年齢 (平成 28 年 3 月 31 日時点)
- (6) 関係書類 (参加証等) の配送先 (氏名, 所属, 連絡先), (1) と同じ場合には記載は不要です。
- (7) その他の連絡事項

発表申込締切 平成 28 年 2 月 22 日(月) 17 時必着

原稿提出締切 平成 28 年 4 月 11 日(月) 17 時必着

その他

- (1) 講演 1 件につき, 講演時間 20 分 (質疑応答 4 分, 交代 1 分を含む) を予定しています。
- (2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み (ダブルエントリー) の場合は, 件名のみを変更して同じ本文内容で別々のメールでお送り下さい。このとき, メール本文の【その他の連絡事項】に重複申し込みしている旨をご記載下さい。
- (3) ポスターボードの大きさ
 - ①学術研究発表コーナー: たて 1170 mm, よこ 870 mm.
 - ②製品紹介コーナー: たて 841 mm, よこ 594 mm.
- (4) 発表者は自動的に参加登録されます。あらかじめご了承ください。
- (5) 原稿は, 学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き, 書式にしたがって A4 判 2 枚にまとめて下さい。書式から大きくはずれた原稿は受付できません。
- (6) 参加登録費

発表者: 会員 8,000 円 (不課税), 非会員 8,000 円 (税別)
 学生会員 3,000 円 (不課税), 学生非会員 3,000 円 (税別)
 発表されない参加者: 会員 8,000 円 (不課税), 非会員 13,000 円 (税別)
 学生会員 3,000 円 (不課税), 学生非会員 5,000 円 (税別)

問い合わせ先

日本繊維機械学会 (第 69 回) 年次大会実行委員会
 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第 69 回年次大会実行委員会

実行委員長：迫部 唯行 (ユニチカ)	山本 貴則 (大阪府立産業技術総合研究所)
副委員長：勝圓 進 (倉敷紡績)	保田 和則 (愛媛大学)
田上 秀一 (福井大学)	中西 康雅 (三重大学)
実行委員：石丸 園子 (東洋紡)	中根 幸治 (福井大学)
井上 真理 (神戸大学)	中根 幸治 (福井大学)
内丸もと子 (京都工芸繊維大学)	西松 豊典 (信州大学)
太田 幸一 (岐阜市立女子短期大学)	橋本 欣三 (TMT マシナリー)
岡本 陽子 (神戸女子大学)	浜口 雅道 (金井重要工業)
奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	藤岡 潤 (石川工業高等専門学校)
小田 涼太 (三晶)	堀 照夫 (福井大学)
金井 博幸 (信州大学)	増田 敦士 (福井県工業技術センター)
鞠谷 雄士 (東京工業大学)	松生 良 (東レ)
喜成 年泰 (金沢大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)
木村 照夫 (京都工芸繊維大学)	向井 康人 (名古屋大学)
木村 裕和 (信州大学)	森島 美佳 (金沢大学)
金 翼 水 (信州大学)	森本 一成 (京都工芸繊維大学)
作田 光浩 (東洋紡)	山内 康史 (豊田自動織機)
杉村 桃子 (新潟大学)	山下 義裕 (滋賀県立大学)
高井 由佳 (大阪産業大学)	山田 茂生 (津田駒工業)
高橋 秀也 (大阪市立大学)	與倉 弘子 (滋賀大学)
武内 俊次 (福原精機製作所)	横山 敦士 (京都工芸繊維大学)
徳山 孝子 (神戸松蔭女子学院大学)	若月 薫 (信州大学)
豊田 宏 (太陽工業)	若松 栄史 (大阪大学)
アドバイザー：鋤柄佐千子 (京都工芸繊維大学)	松本 龍守 (村田機械)
西脇 剛史 (アシックス)	矢井田 修 (日本不織布協会)

ナノファイバー研究会 (第 20 回) 研究例会

期 日 平成 27 年 12 月 18 日(金) 13.00~17.00

会 場 信州大学 繊維学部内 浅間リサーチエクステンションセンター (長野県上田市常田 3-15-1)

- 内 容**
- (1) ナノファイバーによる EDLC とセパレーターへの適用 (13.00~13.50)
 信州大学 先鋭領域融合研究群 国際ファイバー工学研究所 准教授 金 翼 水
 - (2) 不織布のリチウムイオン電池セパレーターへの展開 (14.00~14.50)
 機能材コンサルタント 兵頭 建二
 - (3) nano-sized and/or shaped Electro-Conductive Polymers and Their Application (15.00~15.50)
 ナノサイズの形態を持つ電気伝導性高分子とその応用
 HangYang University, Korea Prof., Seung Soon IM
 - (4) 見学 (15.50~17.00)
 - 1) 信州大学 国際ファイバー工学研究所
 - 2) 信州大学 金研究室
 - (5) 交流会 (18.00~19.30)

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 12,000 円, 非会員 18,000 円, 学生会員無料, 学生非会員 3,000 円 (税別)

ナノファイバー研究会メンバーは無料, 交流会参加費別途 4,000 円 (税別)

申 込 「ナノファイバー研究会第 20 回研究例会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

講演会「国際繊維機械見本市 ITMA2015 (ミラノ) 視察報告」 — 繊維機械の最新動向 —

国際繊維機械見本市 ITMA2015 が平成 27 年 11 月 12 日～19 日の 8 日間、イタリアのミラノで開催されました。ご高尚の通り ITMA は 4 年に 1 回ヨーロッパで開催される世界最大規模の国際繊維機械見本市です。世界の繊維機械メーカーはこの見本市を目標に技術開発、製品開発を目指しており、この見本市に一齐にその成果が披露され、まさに繊維機械のオリンピックと呼ぶに相応しい技術交流の場です。2011 年に開催されました ITMA2011 (バルセロナ) は、出展社数約 1,355 社 (45 ヶ国)、来場者数は約 10 万人 (140 ヶ国) でした。

今回は ITMA2015 に参加された方々を講師として、国際見本市の報告を兼ね、繊維機械の最新動向について解説頂きます。世界の最新動向をつかむ絶好の機会です。関係各位多数のご参加をお待ちしています。

期 日 平成 28 年 1 月 15 日(金) 10.00～17.45

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内 容

- 開会の挨拶 日本繊維機械学会会長, 繊維機械研究会委員長, 金沢大学 教授 喜成 年泰
- (1) 全般 (10.00～10.40) 福井大学大学院 工学研究科 繊維先端工学専攻 教授 田上 秀一
- (2) 合繊機械 (10.40～11.20)
 - 紡糸巻取関係 TMT マシナリー(株) 技術本部設計部 川合 雅士
 - 加工機関係 TMT マシナリー(株) 技術本部 DTY グループ 近田 秀和
- (3) 紡績機械 (11.30～12.10) (株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 紡機技術室第 2 G 樋田 大輔
- (4) 革新精紡機 (12.10～12.30) 村田機械(株) 繊維機械事業部 技術部 MS チーム 主任 豊田 貴大
- (5) 自動ワインダー (12.30～12.50) 村田機械(株) 繊維機械事業部 技術部 AW チーム 課長心得 高田 寛
- (6) 織機 (13.50～14.30) 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 技術織機第 3 課 課長 穴田 雅
- (7) 編機 (14.30～15.10) 日本マイヤー(株) 営業部 部長代理 吉田 維之
- (8) 染色加工機械 (15.20～16.00)
 - (株)日阪製作所 生活産業機器事業本部 染色仕上機器営業部 営業企画課 係長 高橋 正志
- (9) インクジェット捺染機とその最新動向 (16.00～16.40)
 - コニカミノルタ(株) インクジェット事業部 顧問 大野 彰得
- (10) ディスカッション (16.40～17.40) 講演を頂きました講師
- 閉会の挨拶 (17.40～17.45)
- (11) 交流会 (18.00～19.30)

定 員 70 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

協 賛 大阪染色協会, 日本繊維機械協会

参加費 会員 15,000 円, 協賛学協会会員 15,000 円, 非会員 25,000 円, 学生会員 1,000 円, 学生非会員 3,000 円 (税別), 繊維機械研究会メンバー無料, 交流会別途 4,000 円

申 込 「ITMA2015 報告講演会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上 FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

ナノファイバー研究会 (第 21 回) 研究例会

期 日 平成 28 年 1 月 29 日(金)

会 場 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター (東京都港区芝浦 3-3-6)
JR 山手線・京浜東北線「田町駅」から徒歩約 1 分

内 容 詳細は学会 HP をご参照下さい。

繊維機械研究会のご案内と入会のお誘い

世界最高のサービス（顧客の立場に立ったものづくり精神）に加え、世界トップレベルの材料技術、加工技術、メカトロ技術の利点を生かし、世界トップレベルの繊維機械を提供してきた我が国繊維機械業界ですが、開発コストを重視しない近隣諸国の追い上げなどにより先行きが不透明となりつつあります。国内の繊維機械メーカーを見ても、20世紀後半の「複数のコンピティテータが鎬を削って」いた状態から統合が進み、残された champion 企業が世界との競争を繰り広げる一方、国内での切磋琢磨が難しい状況になってきています。これらの状況に対応するため、機械の動向に留まらず、新しい加工対象、糸作り技術、自動化技術を含めた広範囲な技術に関する情報交換の場を提供し、「10年後も世界トップレベルの繊維機械を提供できる」技術開発を模索します。

日本の繊維機械の強みは独り繊維機械メーカーのみの強さだけでなく、世界トップレベルの材料メーカー、部品メーカー、アクセサリメーカー……そして世界一厳しいユーザーによって支えられています。これら多くの方々と「10年後の世界トップレベルの繊維機械」を模索していきたいと考えます。

一般社団法人日本繊維機械学会会員各位の積極的な参加をお待ちしています。

活動 活動は4月から翌年3月までを1年度とし、1年度に研究例会を4回（7月、9月、11月、2月開催を日途とする：関西3回、東海/北陸1回目途）開催する。その他、必要に応じて調査・研究*・出版を行うことがある。基本的に登録メンバーのみによる活発なディスカッションを主体に活動します。

*：プロジェクト研究：複数のスポンサー会員/企業会員からの要望により、大学・公設試等に所属する個人会員が特定テーマの「調査・研究」を行う。経費は要望したスポンサー会員/企業会員が負担し、調査・研究の成果は一定期間、経費負担したスポンサー会員/企業会員のみへの報告とする。

設立発起人 喜成年泰（金沢大学） 新谷隆二（石川県工業試験場） 田上秀一（福井大学）
武内俊次（福原精機製作所） 橋本欣三（TMT マシナリー） 八田 潔（石川工業高等専門学校）
細川勝由（豊田自動織機） 山田茂生（津田駒工業） 若松栄史（大阪大学）[50音順敬称略]

メンバー構成・運営分担金 メンバー構成・運営分担金：研究会メンバーは日本繊維機械学会の「会員」を対象とします。

スポンサー会員：日本繊維機械学会の維持会員、賛助会員等の企業を対象とし、登録メンバー1名の他、研究例会へ同一企業等から複数メンバーの参加を可能とする。（運営分担金5万円/年度）。

企業会員：企業等に所属する日本繊維機械学会の正会員等を対象とし、例会への参加は登録メンバー1名とする。登録メンバーに不都合あるときはあらかじめ連絡の上、同一企業等からの代理メンバー1名が研究例会に出席することができる。（運営分担金2万円/年度）。

個人会員：大学、公設試等に所属する日本繊維機械学会の正会員を対象とし、例会への参加は登録メンバー1名とする。代理メンバーが例会に出席することはできない。本研究会の世話を頂くことを原則とします。（運営分担金5千円/年度）。

入会方法 学会HPより研究会入会申込書のダウンロードができます。

申込先・問い合わせ先 日本繊維機械学会 繊維機械研究会
〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

繊維製品の品質管理と品質保証

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について繊維評価技術協議会から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、TMT ソリューションズ(株)、津田駒工業(株)、尾張繊維技術センターから解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

日時 平成 28 年 2 月 5 日(金) 10.00~18.20

会場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

内容

- (1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明 (10.00~11.10)
 (一財)ニッセンケン品質評価センター 東京事業所 研究開発課 課長 木内 智
- (2) 機能性試験の内容と評価基準 (11.15~12.25)
 (一社)繊維評価技術協議会 大阪支所参事, 日本繊維学会フェロー 越智 清一
- (3) 製品クレームの事象と対策例 (13.15~14.25)
 (一財)ボーケン品質評価機構 開発部 課長 加茂 春樹
- (4) 溶融紡糸長繊維生産品の品質欠点について (14.30~15.30)
 TMT ソリューションズ(株) 第 1 ソリューション部 中田 賢一
- (5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響 (15.30~16.30)
 村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守
- (6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響度 (16.40~17.30)
 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 技術織機 2 課 伴場 秀樹
- (7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響度 (17.30~18.20)
 あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 田中 利幸

協賛 大阪染色協会

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

定員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

申込 「テキスタイルカレッジ 繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

感覚と計測（第8回）

テキスタイルカレッジ「感覚と計測」は、製品の「心地」を数値化するために行います官能評価法およびその応用事例、「心地」評価時の生理的機能量の計測方法およびその応用事例、柔軟仕上げ剤の香りの感性評価方法およびその応用事例について、それぞれ専門の研究者によりわかりやすく解説頂きます。多数の方々のご参加をお待ちしています。

日時 平成28年3月18日(金) 10.00~16.10

会場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内容 (1) 生理的機能量計測に基づく繊維製品設計および評価の試み（10.00~11.30）

..... 信州大学 繊維学部 准教授 金井 博幸

(2) 柔軟仕上げ剤の香りの感性評価（13.00~14.30）

..... ライオン(株) ファブリックケア研究所 宮原 岳彦

(3) 製品の「心地」を数値化する官能評価法について（14.40~16.10）

..... 信州大学 繊維学部 教授 西松 豊典

定員 30名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

共催 繊維機械学会信越支部、繊維学会感覚と計測研究委員会、感性工学会感覚工学部会

参加費 会員 15,000円、共催・協賛学協会員 15,000円、非会員 23,000円（税別、テキスト「最新テキスタイル工学」を含む）、学生会員 3,000円、学生非会員 5,000円（税別）

学生の方で「最新テキスタイル工学」を希望の方はご購入下さい。

申込 「テキスタイルカレッジ 感覚と計測」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込みください。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

企画委員会

委員長	中西 康雅（三重大学）		
副委員長	井出 潤也（クラレ）	田上 秀一（福井大学）	松崎 健（ミズノ）
企画委員	伊藤 智樹（ポーケン品質評価機構）	稲富伸一郎（東洋紡）	潮田ひとみ（東京家政大学）
	梅木 英雄（東レ）	奥野 智朗（住江織物）	奥林 里子（京都工芸繊維大学）
	佐藤 恵美（帝人）	杉山 稔（倉敷紡績）	杉山 研志（TMTマシナリー）
	田先 慶多（日本毛織）	筒井久美子（村田機械）	徳山 孝子（神戸松蔭女子学院大学）
	仲井 朝美（岐阜大学）	西山 武史（ユニチカトレーディング）	伴場 秀樹（津田駒工業）
	東山 幸央（兵庫県立工業技術センター）	廣澤 覚（京都市産業技術研究所）	山内 康史（豊田自動織機）
	若松 栄史（大阪大学）		
アドバイザー	宇治 光洋（ダイセン（繊維ニュース））	岡 卓之（レフトバンク）	越智 清一（繊維評価技術協議会）
	武内 俊次（福原精機製作所）	中村 信（ダイキン工業）	松下 義弘（京都工芸繊維大学）
	六田 克俊（森田工業）		

テキスタイルカレッジ

2日学布づくり

テキスタイルカレッジシリーズの入門編として、繊維工学を系統的に学ぶ機会の少なかった新入社員の方、新しく繊維業務に携わられる方などを対象に、2日間で布づくりの大まかな流れ・基本的用語等を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に繊維業務に携わっておられる方にとっては、繊維と繊維製品の製造、性能、用途について再認識していただく場になればと思います。関係各位、多数の方々のご参加をお待ちしています。

日時 平成28年5月18日(水)、19日(木)

会場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分)

内容

1日目【5月18日(水)】

- (1) テキスタイル概論 (10.00~11.10)..... 金沢大学 理工研究域 機械工学系 教授 喜成 年泰
- (2) 繊維の材料 (天然繊維と化学繊維) (11.20~12.50)
..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 山根 秀樹
- (3) 紡績概論 (13.50~15.00)..... (株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部技術管理G 細川 勝由
- (4) 製織 (15.10~16.20)..... 金沢大学 理工研究域 機械工学系 教授 喜成 年泰
- (5) 編組 (16.30~17.40)..... 福井県工業技術センター 繊維研究グループ 真杉 智章
- (6) 交流会 (17.40~) 講師を交えての意見交換・交流。講師への質問も可能です。

2日目【5月19日(木)】

- (7) 染色・加工 (9.30~11.00) 京都工芸繊維大学 繊維学系 准教授 安永 秀計
- (8) 縫製 (11.10~12.20)..... (株)レフトバンク 取締役 岡 卓之
- (9) 不織布 (13.20~14.50)
..... 日本繊維機械学会 不織布研究会 委員長, 日本不織布協会 顧問 矢井田 修
- (10) 布の性能評価 (15.00~16.10)..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 井上 真理
- (11) 繊維強化複合材料 (16.20~17.30)..... 三重大学 教育学部 准教授 中西 康雅
- (12) 修了証贈呈式 (17.30~17.40)

協賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定員 50名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

参加費 会員 25,000円 非会員 33,000円 学生会員 5,000円, 学生非会員 7,000円 (税別)

申込 「テキスタイルカレッジ 2日学布づくり」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④会員種別、⑤交流会 (無料) への参加有無を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

【繊維産業活性化委員会 (繊維・未来塾)】

塾長	松田 正夫 (元大阪繊維リソースセンター社長)
副塾長	近藤 健一 (大正紡績(株) 繊維事業本部長 兼 東京営業所長) 八代 芳明 (東海染工(株) 代表取締役社長)
	山下 雅生 (株)エイガールズ 代表取締役社長)
幹事	松下 義弘 (京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任教授)
運営委員	糸井 弘一 (関西ファッション連合 戦略室 特命担当) 宇治 光洋 (ダイセン(株) 繊維ニュース 編集グループ記者)
	白谷旗世彦 (大津毛織(株) 代表取締役) 貝原 良治 (カイハラ(株) 代表取締役会長)
	北丸 豊 (豊栄繊維(株) 代表取締役社長) 桑名 紀夫 (日本パーソナルカラー協会 顧問)
	高澤 史納 (高澤織物(株) テキスタイルデザイナー) 高杉 哲朗 (株)ショーワ 代表取締役社長)
	辰巳 雅美 (辰巳織布(株) 代表取締役社長) 松尾 憲久 (マツオインターナショナル(株) 代表取締役社長)
	山本 敏明 (西染工(株) 代表取締役) 米倉 勝久 (株)タカラ 代表取締役会長)
	渡邊 利雄 (渡辺パイル織物(株) 代表取締役社長)

e-テキスタイル研究会（第19回）研究例会 スマートテキスタイル連携研究推進委員会セミナー 「スマートテキスタイルの実用化に向けて」

日時 平成28年1月14日(木) 13.00~16.45

会場 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター（東京都港区芝浦3-3-6）
JR山手線・京浜東北線「田町駅」から徒歩約1分

内容 スマートテキスタイルの実用化に向けて

- (1) ウェアラブルでココロの見える化に挑戦（13.00~13.40）
..... WIN フロンティア(株) 代表取締役社長 兼 CEO 板生 研一
- (2) エンタテインメントのIT化の現状とその未来（13.40~14.20）
..... 青山学院大学 理工学部情報テクノロジー学科 助教 磯山 直也
- (3) 高強度繊維の建築構造への活用（仮）（14.20~15.00）..... 東京理科大学 建築学科 教授 高橋 治
- (4) 心拍はカラダからのメッセージ。C3fit IN-pulse（15.15~15.55）
..... (株)ゴールドウイン テクニカルセンター 開発部 中村 研二
- (5) 伸縮電線“ロボ電[®]”の特長と用途（15.55~16.35）
..... 旭化成せい(株) 研究開発センター ロボ電事業推進室 中川 剛志
- (6) 交流会（17.15~19.00）

共催 (一社)繊維学会「スマートテキスタイル連携研究推進委員会」
(一社)日本繊維機械学会「e-テキスタイル研究会」
NPO 法人 WIN

協賛 (一社)日本繊維製品消費科学会

定員 100名（定員になり次第締め切らせて頂きます。）

申込締切 平成28年1月8日(金)

参加費 会員 10,000円, 非会員 15,000円, e-テキスタイル研究会メンバー 5,000円（交流会費含）

申込 ①氏名, ②所属, ③連絡先（所在地, 電話番号, E-mail アドレス）, ④会員種別（所属学会または研究会名）, ⑤交流会参加の有無を記入の上, E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

申込先 (一社)繊維学会事務局（〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208）
TEL. 03-3441-5627, FAX. 03-3441-3260, E-mail: office@fiber.or.jp

共催行事 2016年 学術ミキサー

新たな年を迎えるにあたり、情報交換をしていただきながら、繊維関連の学術と産業について展望したいと存じます。本年は、公設試験場関係者の皆様より、施設概要や研究内容の紹介を頂く予定です。

日時 平成28年1月22日(金) 11.00~14.30（受付開始10.30~）

会場 東京大学農学部 弥生講堂アネックス「セイホクギャラリー」（東京都文京区弥生1-1-1）
地下鉄南北線「東大前」下車3分、農学部正門左側

共催 (一社)繊維学会, (一社)日本繊維機械学会, (一社)日本繊維製品消費科学会

内容 公設試験場の活動の紹介

岡山県工業技術センター, 岐阜県産業技術センター, 群馬県繊維工業試験場, 東京都産業技術研究センター, 富山県工業技術センター, 奈良県産業振興センター, 福井県工業技術センター, 山形県工業技術センター（発表の順番調整中, ポスター展示も予定）

定員 50名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

参加費 3,000円

申込先 (一社)繊維学会事務局（〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-9-208）
TEL. 03-3441-5627, FAX. 03-3441-3260, E-mail: office@fiber.or.jp

企業心理と消費者心理研究会（第14回）公開講座

第14回目の公開講座は神戸国際大学経済文化研究所主催，日本繊維機械学会：企業心理と消費者心理研究会後援で開催させていただきます。これは，神戸国際大学プロジェクトXX「結婚観の歴史の変遷と多様性に関する学際的研究」の成果のひとつでもあります。

神戸を拠点にブライダル業界の第一線で活躍するプロフェッショナルを招き，少子化・晩婚化・非婚化の現状，また国際化や多様化という環境の変化を見据えて，私たちが直面している課題について徹底討論し，今後の可能性を多面的に探ります。ぜひお越し下さい。

特別フォーラム *Kobe Wedding Forum 2016*

日時 平成28年2月13日(土) 13.00~16.20

会場 神戸国際大学 六甲アイランドキャンパス (〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中9-1-6, TEL. 078-845-3344)
JR住吉駅下車，六甲ライナー乗り換え，マリパーク駅下車，徒歩3分

内容 趣旨説明 (13.00~13.10)

第1部 基調講演 (13.10~14.00)

これからの結婚とブライダル業界の展望 株式会社フェイス 代表取締役 福永有利子

第2部 パネルディスカッション (14.10~15.30)

神戸ブライダルの強み&ブライダル業界の課題と展望

..... パネリスト：株式会社フェイス 代表取締役 福永有利子
株式会社ポートピアホテル 婚礼部長 吉備 由佳
ケント株式会社 代表取締役 萩原 宏宗

コメンテーター：神戸国際大学経済学部 教授 桑田 政美
神戸学院大学経営学部 教授 辻 幸恵

コーディネーター：神戸国際大学経済学部 教授 中矢 英俊

第3部 バレンタインコンサート (15.50~16.20)

..... 演奏：神戸国際大学オルガニスト 伊藤 純子
曲目：「愛の挨拶」, 「いつか王子」, 「行進曲」他

申込・問い合わせ先 ①神戸国際大学 経済文化研究所 TEL. 078-845-3344

②神戸学院大学経営学部 辻 幸恵 yukiecat@vega.ocn.ne.jp, FAX. 078-871-2413

その他 無料ですが，先着順になります。定員を超えた場合はお断りいたします。

平成28年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

平成28年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので，下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は，本学会の会員であり，Original Paper を多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは，JTE (Journal of Textile Engineering, 本学会論文集) に掲載されたOriginal Paper が「5編以上」とします。また，「新進の研究者」とは，年齢が平成28年3月31日現在で，満40歳未満の者となります。

応募される方は，下記の書類を添えて，平成28年2月5日(金) 必着にて，下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部 (様式は自由)

- 提出書類**
- (1) 氏名ならびに生年月日
 - (2) JTE に掲載された論文一覧 (著者名全員，発行年，題目，巻号，初頁一終頁)
 - (3) 推薦書 (自薦，他薦にかかわらず400字以内)

申込先 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

平成 28 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」募集

平成 28 年度日本繊維機械学会賞「技術賞」の公募を行いますので、下記の要領により奮ってご応募下さい。

「技術賞」は繊維ならびに繊維機械に関する研究または技術開発のなかで、創意があり技術的に高い価値を有するものに対し贈賞するものです。受賞資格は本学会の会員であり、前述の業績を挙げた研究者、技術者個人またはおおむね 6 名以内のグループとします。また、原則として、5 年以内の技術を対象とします。

応募される方は、下記の提出書類を平成 28 年 1 月 15 日(金) 必着で、下記の申込先宛送付して下さい。

提出書類 次の書類を 2 部 (正 1 部, 副 1 部, 副は複写も可) 提出して下さい。

- (1) 技術賞応募用紙 (所定の書式の用紙。学会 Web サイトからダウンロードするか、学会事務局までご請求下さい)
- (2) 応募業績に関する参考資料 (参考資料例: 特許, 図面, 新聞記事, 納入実績リスト, カタログ, 技術資料など)

選考方法

- (1) 一次選考 (書類審査) により選抜された業績について、二次選考 (現地調査) を行います。
- (2) 二次選考は、必要に応じて応募者の対象技術が実在し、稼働しているのか等の確認のため「現地調査ならびに口頭説明審査」を行います。

二次選考の実施時期につきましては、当該者へ後日連絡します。

その他

応募書類は選考の資料としてのみ使用し、選考終了後一定期間保管し安全に破棄します。

応募締切

平成 28 年 1 月 15 日(金) 17 時必着

申込先ならびに問い合わせ先

日本繊維機械学会 技術賞選考委員会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

参考資料

過去 3 カ年の「技術賞」受賞者一覧

・平成 25 年度受賞技術

「次世代環境調和型電子写真方式デジタルプリントシステム」

..... 京都市産業技術研究所 早水 督, 廣澤 覚
長瀬産業(株) 大裕 一宏, 岡本 和巳
桂川電気(株) 田代 雅也, 山崎 誠

「高機能競泳用水着」..... (株)アシックス 森 洋人, 勝 眞理, 西脇 剛史

「高速紡績機の糸たるみ吸収装置の開発」

..... 村田機械(株) 平尾 修, 上田 健一, 重山 昌澄, 八木 宏幸

・平成 26 年度受賞技術

「バット染料による綿ニット染色用液流染色機の開発」

..... (株)日阪製作所 清水 徹, 五反田一志, 白石 健二
(株)ワコウナレッジ 若生 寛志
福井大学 中根 幸治

「製織・縫製同時生産システムを目指したスワイベル織装置の開発」

..... (株)片山商店 小紫 和彦, 片山 象三
兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター 古谷 稔, 東山 幸央
サイエンティフィックテクノロジーズ(有) 村尾 良男
神戸大学 井上 真理

・平成 27 年度受賞技術

「高耐摩耗多重構造織物設計」..... 東レ(株) 主森 敬一, 二ノ宮有希, 土倉 弘至

「機台間通信機能を備えた紡績工程管理システム」

..... 村田機械(株) 林 茂, 野間 英治, 西山 能弘
「生体を模した中わた素材の開発」..... 倉敷紡績(株) 小沢 一郎, 大西 浩一
タイ・クラボウ(株) 山内 一平
イシケン(株) 石川 和延

平成 28 年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成 19 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。フェロー制度は欧米では早くから確立されており、フェローとなる会員は、学会を代表するにふさわしい研究者、技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍されています。

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に、「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し、会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的として、この制度を設けました。

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上、自薦他薦を問いませんので、平成 28 年 2 月 29 日(月)までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます。

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し、①候補者氏名、②所属、③肩書、④連絡先、⑤推薦者氏名（自薦の場合は不要）を記入の上、FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい。

日本繊維機械学会フェロー規程

目 的

第 1 条 繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に、日本繊維機械学会フェロー（以下フェローと称す）の称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的とする。

フェロー候補資格

第 2 条 フェローの称号を受ける資格は、原則として次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 正会員歴 10 年以上で、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (2) 正会員歴 15 年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算 20 年以上在籍し、本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める。

推薦方法

第 3 条 フェローの称号は推薦により授与するものとし、推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする。

- (1) 自薦
- (2) 本学会の理事ならびに監事、各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

推薦の時期

第 4 条 推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする。

選考方法

第 5 条 フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける。

認 定

第 6 条 フェロー選考委員会の選考結果に基づき、理事会の議決により認定し、日本繊維機械学会フェローの称号を授与する。フェロー認定書は、フェロー認定式において贈呈する。

任 務

第 7 条 フェローの称号を得た会員は、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として、傑出した研究者・技術者たることを自覚し、本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する。

登録費

第 8 条 フェローの称号を得た会員は、年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする。

フェローの返上

第 9 条 フェローとしての任務が不可能となった場合は、本人の申し出によりフェローの称号を返上することができる。

附 則

1. 本規定の改廃は理事会の議決による。
2. 本規定は平成 20 年 3 月 15 日より実施する。
3. 本規定は平成 27 年 1 月 24 日より実施する。

日本繊維機械学会フェロー内規

1. 推薦基準

(1) 候補者は、学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする。

2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の5名で構成する。選考委員については理事会の承認を得るものとする。

委員長 1名(理事)

副委員長 1名(理事)

委員 3名(委員長指名による会員)

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し、その結果を理事会に報告する。選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが、止むを得ない事情が認められた場合は、書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる。

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない。

3. 登録費

フェローの称号を得た会員は、本学会活動の活性化のために年会費とは別に、年会費5年分の登録費を登録年度に1回のみ支払う。

附 則

1. 本内規の改廃は理事会の決議による。
2. 本内規は平成20年3月15日より実施する。
3. 本内規は平成27年1月24日より実施する。

平成28年度日本繊維機械学会賞「論文賞」推薦委員募集

平成28年度日本繊維機械学会賞「論文賞」の推薦委員募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

申込 応募される方は、①氏名、②所属、③所在地、④連絡先(電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、⑤専門分野を明記の上、平成28年1月18日(月)までに、FAXまたはE-mailで下記宛お申し込み下さい。

申込先 日本繊維機械学会学会賞準備委員会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ予定表

テキスタイルカレッジは、海外諸国に比較して弱体化しつつあり、体系的教育がほとんど行われていなかった我が国の繊維教育に対し、本学会が持つ繊維に関する知識情報の動員機能を活用して、人材育成と技術継承を主目的とした歴史ある教育コースです。

ベテランの方々には知識の整理に、中堅の方々には情報の収集に、若手の方々には基礎知識の吸収に、テキスタイルカレッジへのご参加をお薦め申し上げます。

平成28年			
2月5日(金)	「繊維製品の品質管理と品質保証」	開催日未定	「染色加工基礎講座」(2日間)
3月18日(金)	「感覚と計測」	開催日未定	「不織布実用講座」(2日間)
5月18日(水)	「2日で学ぶ布づくり」(1日目)	開催日未定	「染色加工応用講座」
5月19日(木)	「2日で学ぶ布づくり」(2日目)	開催日未定	「実習：KESによる布特性の測定講座」
開催日未定	「糸づくり講座」	開催日未定	「合織の基礎と最新の技術」(2日間)
開催日未定	「織り組み編み基礎講座」		

JTCC 第51回CPD講演会

日時 平成28年1月22日(金) 13.30~16.30

会場 大阪産業創造館 5F 研修室 D (大阪市中央区本町 1-4-5)

- 内容**
- (1) 合成染料工業の歴史 JTCC 会員 安部田貞治
 第一次世界大戦までは、世界の染料市場の約85%を占めていたドイツの染料工業が、二度の世界大戦で壊滅的な打撃を蒙ったにも拘らず、短期間に回復して、再び世界の染料工業の覇権を握りました。そして1980年代にはドイツ、スイス、イギリスの大手6社の染料工業は、戦後の最盛期を迎えましたが、冷戦終結に伴い、中国、インドの染料工業の世界市場進出により、1990年代以降、急速に衰退の一途を辿りました。この経過を振り返り、その背景を探ります。
 - (2) 自動車用繊維の技術動向 JTCC 会員 齋藤 磯雄
 自動車用繊維の代表的な製品である、タイヤコード、シートベルトおよびエアバッグの技術動向についてまとめました。トピックスとして、航空機用 N66/アラミド、リヨセル、ポリケトンタイヤコード、およびポリエステルエアバッグ用繊維の開発状況等を紹介します。また、産業用繊維で初めて実用化に成功したポリエステル連続重合紡糸技術についても紹介します。

申込・問い合わせ先 一般社団法人日本繊維技術士センター (JTCC)
 TEL. 06-6484-6506, FAX. 06-6484-6575, E-mail: jtcc@nifty.com

その他 詳細は日本繊維技術士センターの HP (<http://jtcc.c.ooco.jp/>) をご参照下さい。

JTCC 平成27年度アパレル製品の基礎知識講座

期日 平成28年1月23日(土), 30日(土)

会場 大阪産業創造館 (大阪市中央区本町 1-4-5)

- 内容**
- (1) アパレル製品の商品化プロセス
 - (2) 縫製仕様書
 - (3) 縫製工程の概要 (ニット縫製および無縫製技術も含む)
 - (4) 代表的な縫製欠点
 - (5) 繊維製品の二次加工における注意点
 - (6) 表示等の関連法規
 - (7) 衣服材料の試験と検査
 - (8) アパレル製品の試験と検査
 - (9) 中国関連情報
 - (10) 苦情事例解析編

定員 46名

参加費 22,000円

申込・問い合わせ先 一般社団法人日本繊維技術士センター (JTCC)
 TEL. 06-6484-6506, FAX. 06-6484-6575, E-mail: jtcc@nifty.com

その他 詳細は日本繊維技術士センターの HP (<http://jtcc.c.ooco.jp/>) をご参照下さい。

FMC 1 月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の1月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ (http://www.geocities.jp/fmc_webpage/) をご参照下さい。

日時 平成 28 年 1 月 8 日(金) 18.15~20.00

会場 大阪産業創造館 5F 会議室 AB (大阪市中央区本町 1-4-5)

内容 ルクア大阪の運営手法とルクア イーレの開発コンセプト・戦略について

梅田エリアの激しい競争の中で No. 1 のファッションビルを目指す為に取り組んでいる、ルクア大阪の運営手法を紹介し、また、平成 27 年 4 月に開業したルクア イーレの開発コンセプト・戦略（マーケット分析、SC と百貨店の融合、ポジショニング、ターゲティング等）をご紹介します。

講師 JR 西日本 SC 開発(株) 営業本部 営業統括グループリーダー、ルクア イーレ フロア統括 舟本 恵

参加費 ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 11 回のセミナー (10 月は見学会) に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になれます。]

申込 FMC 1 月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話または FAX 番号をご記入の上、12 月 25 日(金)までに E-mail にて下記宛お申し込み下さい。

申込先 大阪樟蔭女子大学 被服学科内 FMC 事務局

E-mail: fmc.office.mail@gmail.com



繊維と共に 60 年の回顧

B5 判, 120 頁, 定価 1,500 円 (税込), 送料 1 冊 400 円

著者: テキスタイル・ジャーナリスト 米長 粲

月刊誌「不織布情報」において 2014 年 6 月号～2015 年 3 月号まで好評連載された米長 粲氏の『繊維と共に 60 年の回顧』を再編集、単行本にまとめました。繊維メーカーでの研究開発からスタートし、海外への赴任、海外企業への転職、ジャーナリストとして独立など、長年にわたる経験と多彩な交流体験を紹介。このほか学会誌への寄稿原稿、大学での講義原稿、海外著名雑誌への寄稿なども収録し、日本人テキスタイル・ジャーナリストとして国内外から注目される米長氏のこれまでの仕事を一望できるものとなっている。また、文中に登場する懐かしい企業やお名前は、同時代を生きた方たちには懐かしく、これから業界を担う若い人々には新鮮に映ることだろう。

【問い合わせ先】 (株)不織布情報 (〒541-0042 大阪市中央区今橋 1-8-14, 北浜山口ビル)

TEL. 06-4706-5768, FAX. 06-4706-5751

研究会

本学会には次の研究会が設置されています。会員各位のご入会を歓迎します。詳細は事務局 (TEL. 06-6443-4691, E-mail: info@tmsj.or.jp) まで

繊維機械研究会	委員長 喜成 年泰
テクテキスタイル研究会	委員長 増田 敦士
不織布研究会	委員長 矢井田 修
コンポジテックス研究会	委員長 中村 崇人
繊維リサイクル技術研究会	委員長 木村 照夫
テキスタイル科学研究会	委員長 鋤柄佐千子
企業心理と消費者心理研究会	委員長 辻 幸恵
ナノファイバー研究会	委員長 山下 義裕
e-テキスタイル研究会	委員長 森本 一成
バーチャルテキスタイル研究会	委員長 横山 敦士

海外繊維技術文献集 Vol. 65, No. 6 (2015-11) 内容目次

全訳

- ・テラヘルツ分光法による羊毛テキスタイルの鑑別

抄録

- ・環スパイダーシルク：機能性繊維のための古代の生体材料
- ・高強力レーヨン繊維製造用の広葉樹パルプ
- ・PEI/NMP 溶液のエレクトロスピンニングに及ぼす環境パラメータとその他重要パラメータの相互作用
- ・3D 形態経編布の形状モデリング
- ・平面テキスタイルの電気特性の異方性
- ・Estabragh (トウワタ) / 綿混紡糸で作った編地の熱的快適性の研究
- ・単軸引張下におけるモノフィラメント織物の有限要素解析
- ・革新的 3D 肥大促進テキスタイル構造の変形挙動の理論解析
- ・黄変が強くならない漂白羊毛の光安定性の改善
- ・中性付近 pH 条件下における綿織物の低温漂白用のカチオン性漂白剤としての N-[4-(ジメチルアルキルアンモニオメチル)ベンゾイル]カプロラクタムクロリドの合成
- ・ポリエステル繊維をセルロースの表面で加工するためのイオン液体
- ・モノクロロトリアジン-β-シクロデキストリンとワームウッド油の包接錯体：調製，キャラクタリゼーション，綿織物への加工
- ・キトサン-塩化シアヌルハイブリッドによる羊毛織物の改質
- ・反応染料による綿の捺染用の第二級アミンを使った新しい防染技術
- ・セルロース繊維の色に及ぼす銀の影響
- ・テキスタイル染料として使用できる可能性を示す木材着色菌の *Chlorociboria aeruginosa*, *Scytalidium cuboideum*, *S. ganodermophthorum* から抽出した色素
- ・分散染料調製のための分散剤としてのリポゾーム
- ・3D 画像解析法を用いた残留バギング容積の評価
- ・綿及びポリエステル織物の縫い目性能の比較研究
- ・アンモニア / 水の生物学的修復用に植毛を行った生物変換反応媒質
- ・第 2 報 生物学的修復法の物理的および機械的側面
- ・3D ブレイドプリフォーム複合材料と α 繊維強化多層複合材料の破壊タフネスの比較
- ・弾丸防護用テキスタイル複合材料内部におけるワープインターロック布の使用
- ・2 × 2 ツイル織布カーボン / エポキシ多層複合材料における損傷の開始と伝播に関する検討
- ・抗菌加工と消臭加工を施したギブス固定用ニット地の加工効果
- ・熱-質量輸送モデルによる一層布系の性能評価 (第 1 報) 熱-質量輸送モデル
- ・カビの生育を測定するための AATCC Test Method 100 の改良法を用いた最確数定量法の評価
- ・創傷療法用繊維製品の抗菌作用
- ・交互積層集合複合材料 / 触媒を含む膜からのナノ構造膜・電極接合体および彼等の燃料電池セルの性能
- ・ γ 線照射によって合成されたナノ銀/ポリ (ビニルアルコール) ヒドロゲルからのイン・ビトロ銀イオン放出速度論
- ・セルロースナノ結晶を用いて補強された架橋 PVA ナノファイバー：水相互作用および熱機械特性
- ・変成シリコーンの添加によって，変成されたカルダノール連結セルロース熱可塑性樹脂の衝撃強さの改善
- ・DMSO/クロロホルム共溶媒系を用いて電界紡糸された超微細セルローストリアセテート・マット
- ・Cr(III)-含有 Fe_3O_4 /メルカプトプロパン酸-ポリ (アクリル酸 2-ヒドロキシエチル) ナノコンポジット：ベンゼンの直接ヒドロキシル化のための高活性な磁性触媒
- ・両親媒性のマクロ RAFT 剤を用いた塩化ビニリデンの ab Initio 乳化 RAFT 重合
- ・ナノ結晶 DSSC 中の，N3-色素でドーブした新規超分岐型ポリ (アリアル-エーテル-ウレア) の性能
- ・*Aspergillus terreus* からのキトサンの合成と分離およびスズ吸着への適用
- ・クラフトパルプの TEMPO-酸化で調製されたセルロースナノファイバーおよびカオリンクレイに及ぼすそのフロキュレーション効果
- ・エレクトロスピンニングにおける定常ジェット流の拡大—理論的解析および実験的検証

購読を希望の方は日本繊維機械学会事務局までご連絡下さい。